

空き店舗を活用して台湾料理店を開店
 商店街全体のPRに効果があったほか、組合員の意識の向上に寄与

みのしま連合商店街振興組合

機関名	みのしま連合商店街振興組合		
所在地	福岡県福岡市博多区美野島1-17-15		
電話番号	092-414-7284		
地域概要	(1)管内人口 176千人	(2)管内商店街数 8商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 45商店	
	(3)空き店舗率 12%	(4)大型店空き店舗数 1店	
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成15年度 空き店舗対策事業 ・チャレンジショップ開設
 ・イベント実施
 総事業費 6,725千円

【事業実施内容】

1. 背景

福岡市博多区は、国指定の板付遺跡をはじめ、由緒ある神社仏閣など歴史的遺産を多く擁するとともに、伝統的な祭や文化を継承してきた地域である。一方、JR博多駅、博多港、福岡空港を擁する福岡市の陸海空の玄関口として栄え、発展してきた。

みのしま連合商店街は博多区のほぼ中央部、JR博多駅から南へ約1kmに位置する都心部立地の近隣型商店街である。生鮮食品を安価で販売する商店が多く、非常に多くの来街者で賑わっていたが、近年は商店街の周辺に大型スーパーが進出するなど商業環境の変化に伴って来街者は最盛期の5分の1ほどになっている。

このような状況をうけ、商店街では空き店舗を活用してチャレンジショップを開設、街に賑わいを創出すること、また、話題作りを行って商店街の認知度をアップすることを目的に当該事業に取り組んだ。



みのしま連合商店街の位置（みのしま連合商店街振興組合HPより）

2. 事業内容

商店街内の空き店舗に台湾料理を提供するレストランをチャレンジショップとして開設するとともに、商店街でイベントを開催してチャレンジショップのPRを行った。

(1) チャレンジショップ事業

空き店舗を活用して台湾からの留学生が経営する台湾家庭料理のレストランを開店。レストランで使用する食材は、みのしま連合商店街の食料品店より調達した。

レストラン経営者である台湾人女性もともとみのしま連合商店街の顧客であり、商店街活性化のために空き店舗を利用して出店したいとの申し出があったことが本事業に取り組むきっかけとなった。

また、本事業終了後は経営者が交代したものの、従来どおりの台湾料理店として営業を継続している。



みのしま商店街の様子

- ・店舗名 餃子工房&台湾菜館「皇厨（ファンツー）」
- ・開店期間 平成15年7月26日～平成16年2月29日
- ・所在地 福岡市博多区美野島2-19-22（美野島橋通り商店街内）
- ・業種 台湾料理店
- ・施設の概要 約10坪 厨房、客席12席
- ・店舗の特色 台湾の屋台のような造りの店舗で台湾家庭料理を提供した。
- ・運営者 台湾からの留学生
- ・来店者数 1日平均、約30～40名程度。延べ6,300～6,500名程度の来店者数となった。



チャレンジショップ「皇厨」の様子

みのしま連合商店街振興組合

(2) イベントの開催

国際性に富む商店街をアピールするとともに、チャレンジショップ「皇厨」のPRをかねてイベントを実施した。

- ・開催日 平成15年10月27日
- ・イベント名 「みのしま商店街 アジア屋台市」
- ・イベント内容 アジアからの留学生による母国料理の提供や生活用品の販売を通してアジア文化を広めることで留学生と地域住民の国際交流を図った。その一環としてチラシを作成し「皇厨」のPRを行った。同時に国際交流コンサートを催した。
併せて環境に優しい街づくりを推進する商店街としてオリジナルエコバックをイベント参加者や来街者に配布した。



商店街イベントの様子

【 効 果 】

1. 商店街の認知度

チャレンジショップを開設したこと、また、イベントを開催したことでテレビ、新聞、ラジオ等マスコミに多く取り上げられ、商店街をPRできた。

2. 商店街の組織

もともと商店街振興組合として様々な事業に積極的に取り組んできたが、本事業を行うことを通して商店街会員の意識がさらに向上した。

3. 来街者の行動

少数ではあるが、台湾料理店を訪れることを目的とした来街者が商店街を通るようになった。また、当該店舗が夜遅くまで営業しているため、夜間、商店街に明かりが灯るようになった点も治安維持という面から良かったといえる。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・事業費の確保

事業費をいかに確保していくかが最大の課題である。今回の空き店舗対策事業も補助金がなくては取り組むことが困難であり、制度のありがたみを感じている。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

空き店舗で営業を行うチャレンジショップについては継続して行うことが重要との観点から、補助金がなくなっても独立採算でやっていける業種・店舗であることをきちんと検証した上で、選択することが大切であると考えている。

【 関 連 U R L 】

みのしま連合商店街振興組合 <http://www.minochan.com/>